

# 首都大学東京の将来像

このたび、「首都大学東京の将来像」の最終報告をとりまとめましたのでお知らせします。

## 将来像の策定の基本的な考え方

首都大学東京の開学から 4 年目に入り、改革の枠組みである 4 大学統合後の学部学科編成、教員人事制度等が制度的に完成しつつある一方、大学間競争がますます激化の傾向を強めている今日、改革の真の成果を確かなものとし、社会や学生のニーズに的確に把握した魅力ある大学になることが求められています。そのためには、社会や本学を目指す若者へアピールできる将来像を発信していく必要があります。

「首都大学東京の将来像」は、次期中期計画（平成 23 年度から 28 年度）の策定を念頭に置き、10 年後を展望した大学の将来像を自ら描いて対外的に明らかにするとともに、その達成に向けた当面の検討課題を掲げ、現行中期計画期間である今後 3 年間（平成 20 年度から 22 年度）において、具体的に取組むプランを提案するものです。

## 将来像の策定に当たっての視点

- ☆ 首都大学東京の持つ強み、特長、可能性を最大限に生かす。そのために、大学の教育理念について、これを深める議論を早急に開始する。
- ☆ 特色ある教育研究をさらに発展し、新しい課題にも柔軟に対応できるよう、必要な体制を整備するなど、大学としての足腰をしっかりと固める。
- ☆ 各学部・研究科における教育研究の内容や成果を社会、都民、高等学校等にさらに広く発信し、大学の姿が十分に理解されるよう努める。
- ☆ 首都東京の公立総合大学として、人材供給や学術発信による社会や国政・都政への貢献を進めるとともに、大学の外からの、教育研究活動に対する提言や参加も求める。
- ☆ 教育・研究両面での国際化への対応を強め、特にアジアにおける優秀な人材の育成に役割を果たす。

## 【問い合わせ先】

公立大学法人首都大学東京 経営企画室 企画課  
TEL 03-5320-7081 (ダイヤルイン)  
FAX 03-5388-1615  
ホームページ <http://www.tmu.ac.jp/kikaku/outline/future.html>

## 将来像のポイント

### I 学習意欲あふれる学生の確保

指定校推薦入学の対象地域の拡大、指定校との高大連携の強化、帰国子女等の特別選抜の枠の見直し、アジアを中心に留学生の受入拡大などを実施します。

### II 特色ある教育の強化

学長のリーダーシップのもとに大学教育の改革を推進するための仕組みを構築します。経済学コースの開設(21年度予定)、都市政策コースの教育課程の充実、単位バンクシステムの登録科目の拡大と利用しやすい仕組み作りなどを実施します。

### III 世界水準の研究への重点支援

大学院博士後期課程の学生への経済的な支援を実施します。学長直轄の戦略研究センターを整備し、また、部局を超えて、共通の研究課題を共同研究するグループとして研究環を設置し、求心力のある国際的な研究を推進する体制を構築します。

### IV 首都大学東京の志向する国際化の推進

東京都における国際交流の一翼を担いつつ、全学横断的な国際戦略・国際交流を行う部署として国際センターを創設し、首都大学東京の国際化に向けた取組みを推進します。

### V 強みを活かした社会貢献

施策プロジェクトの内容に応じて、全学から相応しい専門家を招集し、学部・研究科の枠を超えてプロジェクトを支援・推進する、行政ニーズに応えた、分野横断型の総合窓口として、都市科学連携機構を設置します。また、オープンユニバーシティ機能を拡充し、首都大学東京ならではの特色ある講座を実施します。

## VI 経営改革

### ○ 事務組織の改革

法人統括機能とキャンパス管理機能の役割を明確にした効果的・効率的な業務運営体制の構築、学生支援体制の充実、卒業生とのネットワークを確保し大学を社会の側から支えるための体制の整備などを実施します。

### ○ 人事制度の改革

教員の意欲と努力に応える教員人事制度を適切に運用し定着させるとともに、高齢者の活用を進めます。また、法人固有職員の採用を計画的に進め、専門職としての大学職員育成を行い、都派遣職員を順次解消します。

### ○ 財政基盤の強化

授業料等の水準は国立大学レベルを当面上限とします。外部資金研究費や行政からの研究費・事業費の獲得増を図り、また、卒業生、企業等からの寄付金募集のための仕組みを整備します。

### ○ キャンパス整備、学習環境の整備

快適なキャンパスライフを目指した施設整備計画に基づき、各キャンパスを適切に管理し、環境対策をリードしたエコキャンパス化を進めます。外部資金の更なる獲得を図るため、大型外部資金受入研究施設を建設(21年度)します。また、共同生活を通じて人間形成を図るための寮の増設、社会人が学びやすい都心キャンパスの整備などを検討します。

### ○ 中期目標・中期計画・大学認証評価への対応

首都大学東京の将来像(最終報告)は、首都大学東京の10年後のあるべき姿を目指して、平成20年度から22年度までに取組みが必要な諸課題を中心に、とりまとめたものです。今後は、最終報告に基づき、この3年間に取組むべきプランを着実に実行するとともに、次期中期計画の策定に備えていきます。